

遺愛祭とおもてなしの心

7月17・18日（金・土）は、遺愛の学校祭でした。18日が一般公開でしたが、あいにくの小雨にもかかわらず、たくさんの方がお越し下さいました。生徒の保護者、友人、卒業生、小学生・中学生の皆さんなど本当にたくさんの方々に、嬉しい限りでした。

今年の遺愛祭のテーマは『マツコの知らない遺愛祭』で、マツコ・デラックスさんですら知らない遺愛の姿を、ぜひ多くの市民の皆さんにも知っていただくという思いから決められたようです。中学生は大迷路、高1はステージ発表、高2は催し物、高3は模擬店です。本当に趣向を凝らして見事な出来映えでした。

だいたい見終えて、校長室で仕事をしていると、20年前に遺愛を定年退職された女性の先生が訪ねて来られて、「一言伝えておかなくてはと思い、来ました。」とおっしゃられました。遺愛祭で何か粗相でもあったかと、一瞬、戦々恐々としたのですが「最近足が悪くなって足をひきずりながら遺愛の階段を下りていたところ、2人の生徒さんが…大丈夫ですか？何かお手伝いしますか？と声をかけてくれ、本当に嬉しかったです。」とのこと。ホッと胸をなで下ろすと共に、私もとても嬉しくなりました。遺愛祭の毎年のテーマとは別に、隠れたテーマがあります。それは「熱く熱く燃え、最高の思い出をつくること」そして「東京ディズニーランドをこえるおもてなしの心をもってお客様を迎えること」です。なかなか難しいことなのですが、このような嬉しいお話を聞くと、生徒さんは心がけてくれているんだなと感動します。

2015年7月18日（土）



大迷路



模擬店



ステージ